

## 動物由来感染症発生状況（平成29年度）

○主な感染症の発生件数(合計) 759件

○主な感染症の種別発生ランク

種 別	発生件数順位		件 数
感染症	1位	回虫症	230
	2位	マラセチア症（耳介のみの発症は除く）	228
	3位	マンソン裂頭条虫	92
病原体	1位	寄生虫	374
	2位	真菌	304
	3位	原虫	59
※地 域	1位	中丹	99.7
	2位	乙訓	60.5
	3位	南丹	50.7
動 物	1位	犬	424
	2位	猫	317
	3位	その他	18

※ 地域別発生件数：1定点あたりの発症件数に換算

○考 察

平成29年度は、回虫症が最も多くほとんど子犬、子猫からの報告でした。また、マラセチア症など気温の高い夏場に報告件数が上昇する傾向は、従来どおり見られました。また、レプトスピラ症の発生は、家畜伝染病予防法に基づく届出が2件ありましたので、ワクチン接種を行うなど予防に努める必要があります。

今年度も重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の積極疫学調査を実施し、犬77検体、猫5検体ですべて陰性でした。他の自治体において、体調不良の猫から人（SFTS）が感染した事例が確認されており、今後も注視する必要があります。

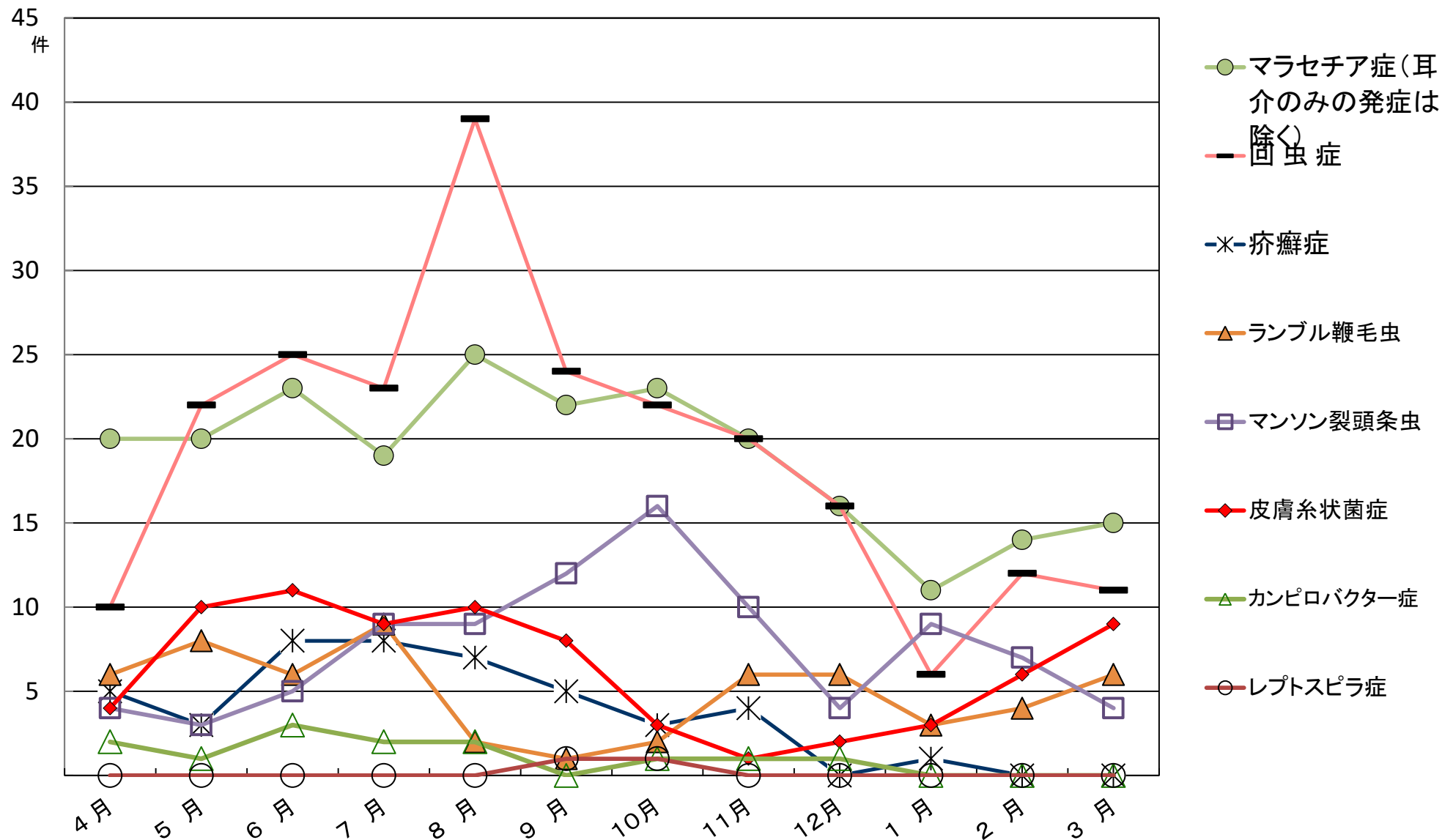
動物を触った後や糞尿の始末をした後は、手洗いの励行が重要です。また、ダニの駆除を定期的に行うことが必要です。

動物由来感染症動物種別発生状況(平成29年度)

【主な動物感染症】

属	感染症	犬			猫			その他	計
		件数	成犬	幼犬	件数	成猫	幼猫		
ウイルス	狂犬病								0
	高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)								0
	H5N1を除く鳥インフルエンザ								0
	新型インフルエンザ等感染症								0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
クラジミア	オウム病								0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌	結核								0
	ブルセラ症								0
	レプトスピラ症	2	2						2
	カンピロバクター症	9	4	5	4	3	1		13
	パストレラ症	1	1		2	2		4	7
	エルシニア菌症								0
	小計	12	7	5	6	5	1	4	22
原虫	ランブル鞭毛虫	47	8	39	10	4	6	2	59
	トキソプラズマ症								0
	小計	47	8	39	10	4	6	2	59
真菌	皮膚糸状菌症	27	26	1	38	21	17	11	76
	マラセチア症(耳介のみの発症は除く)	225	223	2	3	3			228
	小計	252	249	3	41	24	17	11	304
寄生虫	マンソン裂頭条虫	12	11	1	80	46	34		92
	エキノコックス								0
	回虫症	75	15	60	155	28	127		230
	東洋眼虫	1	1		1	1			2
	鉤虫症	6	1	5					6
	顎口虫								0
	疥癬症(耳疥癬症を含まない)	19	16	3	24	16	8	1	44
	小計	113	44	69	260	91	169	1	374
合計		424	308	116	317	124	193	18	759

動物における人と動物の共通感染症月別発生推移（平成29年度）



動物愛護センターの収容犬における人獣共通感染症(SFTS)調査に係る検体一覧と検査結果

検体番号	地域	種類	性別	大きさ	推定年齢	検査結果※	飼養環境
1	南丹	雑	♀	中	3-4才	陰性	保護
2	山城北	ハビヨン系	♂	小	7-8才	陰性	保護
3	南丹	柴	♂	小	1-2才	陰性	保護
4	中丹東	雑	♂	中	14才	陰性	保護
5	中丹西	雑	♀	中	4-5才	陰性	保護
6	乙訓	コーギー	♂	中	7才	陰性	引取
7	丹後	雑	♂	大	4-5才	陰性	保護
8	山城南	雑	♂	中	9-10才	陰性	保護
9	山城北	シーズー	♂	小	11才	陰性	引取
10	山城北	マルチーズ	♂	小	8才	陰性	引取
11	中丹西	雑	♀	中	3-4才	陰性	保護
12	山城北	雑	♂	中	3-5才	陰性	保護
13	山城北	雑	♂	中	5才	陰性	保護
14	山城北	雑	♀	中	5才	陰性	保護
15	山城南	雑	♀	中	5-7才	陰性	保護
16	中丹東	柴系	♂	中	5-7才	陰性	保護
17	山城南	雑	♀	中	1-2才	陰性	保護
18	南丹	雑	雄	大	5-6才	陰性	保護
19	山城南	雑	♀	中	2才	陰性	保護
20	山城南	雑	♀	中	2才	陰性	保護
21	山城南	雑	♂	中	5才	陰性	保護
22	山城南	雑	♀	中	2才	陰性	保護
23	山城北	キャバリア	♂	小	8-9才	陰性	保護
24	山城南	ダックス	♂	小	7-8才	陰性	保護
25	山城北	トイ・プードル	♂	小	6才	陰性	引取
26	中丹東	雑	♀	中	5-6才	陰性	保護
27	南丹	雑	♀	中	1-2才	陰性	保護
28	南丹	柴系	♂	中	8才	陰性	引取
29	山城南	柴	♂	中	2才	陰性	引取
30	山城北	チワワ	♀	小	7-8才	陰性	保護
31	南丹	雑	♂	大	3-5才	陰性	保護
32	南丹	雑	♂	中	8才	陰性	引取
33	山城北	雑	♂	中	14-15才	陰性	保護
34	山城北	雑	♂	大	13才	陰性	保護
35	丹後	雑	♂	中	5-7才	陰性	保護
36	南丹	雑	♀	中	3-4才	陰性	保護
37	南丹	雑	♂	中	3-4才	陰性	保護
38	山城北	ビーグル	♂	中	9-10才	陰性	保護
39	南丹	雑	♂	中	7-9才	陰性	保護
40	山城北	M.ダックス	♂	小	6-7才	陰性	保護
41	山城北	チワワ	♂	小	1才	陰性	引取
42	乙訓	ラブラドルトリバー	♀	大	4才	陰性	引取
43	中丹西	雑	♀	中	5-7才	陰性	保護
44	中丹東	柴系	♂	中	7-9才	陰性	保護
45	南丹	雑	♀	中	3-5才	陰性	保護
46	中丹西	ビーグル	♂	中	8-9才	陰性	保護
47	中丹西	雑	♂	中	5-7才	陰性	保護
48	南丹	ラブラドルトリバー	♂	大	10ヶ月	陰性	引取
49	山城南	雑	♂	中	1才	陰性	保護
50	山城北	シーズー	♀	小	10才以上	陰性	引取
51	山城北	雑	♂	小	6-7ヶ月	陰性	保護
52	山城北	雑	♂	中	2-3才	陰性	保護
53	山城北	雑	♀	中	4-6才	陰性	保護
54	山城北	雑	♀	中	2-3才	陰性	保護
55	丹後	柴系	♀	中	6-8才	陰性	保護
56	丹後	柴系	♀	中	7-9才	陰性	保護
57	南丹	雑	♂	大	2才	陰性	引取
58	南丹	雑	♂	中	1才前後	陰性	保護
59	南丹	柴系	♀	小	5-7才	陰性	保護
60	山城北	雑	♂	中	1才前後	陰性	保護
61	乙訓	ビーグル	♂	中	3-5才	陰性	保護
62	南丹	柴系	♀	小	2才	陰性	引取
63	南丹	M.ダックス	♀	小	16才	陰性	引取
64	山城北	コーギー	♂	中	7-9才	陰性	保護
65	南丹	雑	♂	中	2才	陰性	保護
66	山城南	ゴールデントリバー	♀	大	9才	陰性	引取
67	山城南	雑	♀	中	2才	陰性	保護
68	山城北	柴系	♂	中	3-4才	陰性	保護
69	山城南	雑	♂	中	3-4才	陰性	保護
70	山城南	雑	♂	中	1-2才	陰性	保護
71	山城北	スタンダードプードル	♀	大	10才以上	陰性	引取
72	山城北	スタンダードプードル	♀	大	8才	陰性	引取
73	山城南	雑	♂	中	7-9才	陰性	保護
74	山城南	雑	♂	中	3-5才	陰性	保護
75	山城北	雑	♀	小	3-5才	陰性	保護
76	中丹東	雑	♂	小	3-5才	陰性	保護
77	山城南	雑	♀	中	2-3才	陰性	保護

動物愛護センターの収容猫における人獣共通感染症(SFTS)調査に係る検体一覧と検査結果

猫のNo.	搬入保健所	種類	性別	大きさ	推定年齢	検査結果※	飼養環境
78	丹後	雑	♂	中	1才未満	陰性	引取
79	丹後	雑	♂	中	1才未満	陰性	引取
80	丹後	雑	♀	中	1才未満	陰性	引取
81	丹後	雑	♂	中	1才未満	陰性	引取
82	丹後	雑	♀	大	3-4才	陰性	保護